

たきかわ「^わ環のまち」物語 (案)

年 次 報 告 書

(平成 25 年度評価版)

滝 川 市

◇たきかわ「^わ環のまち」物語 年次報告書とは

滝川市では「たきかわ「環のまち」物語～滝川市環境基本計画・地域行動計画～」(以下、「環境基本計画」という。)という環境に関する計画を平成18年3月に策定(平成23年3月に改訂)しました。環境基本計画では、滝川市では環境においてどのような取組が行われているか、また実際にはどこまで成果が上がっているのかなどを、毎年、検証することにも取り決めています。この報告書はその一環として前年度の状況などをとりまとめて、皆さんにご報告するためのものです。

☆「たきかわ「環のまち」物語 ～滝川市環境基本計画・地域行動計画～」とは

ひとくちに環境といっても、様々な切り口がありますが、この計画では次の4つの視点(ここでは「物語」と呼んでいます。)から目指すべき将来の姿を描いた上で、それぞれにおいて達成すべき数値目標などを設定しています。

1 資源の環(わ) 循環 物語

廃棄物の発生抑制やリサイクルを推進します。

2 創エネ・省エネ 物語

エネルギーの消費抑制、再生可能エネルギーの利活用を推進します。

3 農・山・川 物語

豊かな自然環境、農業にふれあい、育む活動を推進します。

4 人の環づくり 物語

環境づくりを担う人材育成とネットワークづくりを推進します。

計画では次のとおり具体的な数値目標を設定しています。

項 目	H16 (参考)	H27 目標値	備考
市民1人・1日当たりのごみ排出量(家庭系)	606g	470g	1日1人当たりの排出量(家庭系のみ)
リサイクル率	21.7%	30.0%	—
省エネモニターのCO ₂ 削減量	—	前年比平均1%減	—
滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量	—	原単位で1%削減	—
農業体験授業(事業)実施校数	—	40校	H23～27の累計
石狩川ルネサンスの森市民植樹祭植樹本数	—	7,700本	H18～27の累計
環境学習リーダーの人数	—	200人	H18～27の累計
環境市民大会の参加者数	—	100人	1開催につき
環境関連イベントにおける参加者の平均評価点	—	年間平均85点以上	満点を100点とする。

※平成23年3月の改訂により数値目標が一部修正されています。

(1) 資源の環 (わ) 循環 物語

1 平成 25 年度における数値目標の達成状況について

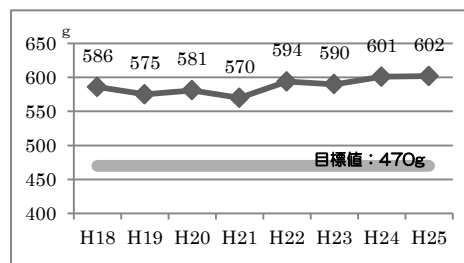
市民 1 人・1 日当たりのごみ排出量 (家庭系)

(H23 年度から内容が見直された数値目標)

目標値 (平成 27 年度時点) 470 g / 人・日

実績値 (平成 25 年度) 602 g / 人・日

☆H25 年度までの状況

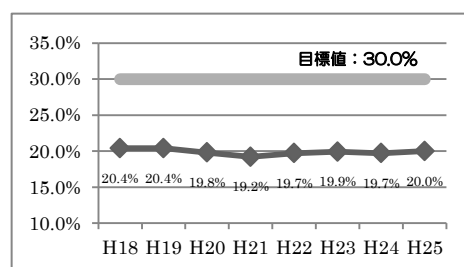


市民 1 人・1 日当たりのごみ排出量 (家庭系)

リサイクル率

目標値 (平成 27 年度時点) 30.0%

実績値 (平成 25 年度) 20.0%



リサイクル率

今後に向けた課題など...



リサイクル率・市民 1 人・1 日当たりのごみ排出量 (家庭系) は、ほぼ横ばいの結果となってしまいましたが、平成 24 年に実施したごみの組成調査の結果で最も多くごみとして排出されていた「雑がみ」の無料回収を本年度よりスタートしたため、平成 25 年度以降は、リサイクル率等の向上が期待されます。

2 平成 25 年度における主な取組について

(1) 集団資源回収事業

町内会をはじめとした各種団体において、資源の回収を奨励し、回収された資源の量に応じて、奨励金を交付するものです。

- ・実施団体数 306 団体 (前期 153 団体、後期 153 団体)
- ・補助金交付額 349 万円 (前期 1,719,107 円、後期 1,778,287 円)

単位: t

		25 年度	24 年度
区分	紙パック	5	6
	紙 類	1,394	1,443
	びん類	163	162
	金属類 (スチール缶、アルミ缶、その他金属)	96	106
	ペットボトル	91	95
	その他	1	1
	計	1,750	1,813

表 1 集団資源回収の回収内訳

(2)カレンダーリサイクル事業

年末年始に個人や事業所等で受け取るカレンダーや手帳などのうち、自ら使用する見込みのないものを提供していただき、これらを滝川市まちづくりセンターにて展示し、希望者に対してその場でお渡ししました。期間中に約 1,102 点（カレンダー1,005 点、手帳 97 点）が新たな持ち主に引き取られ、有効活用が図られることとなりました。

(3)リサイクルフェアの開催

市内でも屈指の規模のフリーマーケットが展開される滝川市リサイクルフェアは、今回も空知自動車学校様の御協力をいただき、同校教習コースで開催される「WaiWai フェスタ」との合同イベントとして実施しました。

当日はフリマ以外にも古着の回収（協力：株式会社キョクサン）や小型電子機器の無料回収、生ごみ肥料の即時販売なども併せて行われ、多くの人々の参加のもとで、大きな盛り上がりを見せました。

- ・開 催 日：9月21日（土）
- ・入 場 者 数：3,000 人（抽選券配布枚数から推計）
- ・フリマ出店区画数：77 区画

【資源回収量】

- ・古着の回収量：250 k g
- ・廃食用油の回収量：20 リットル
- ・小型家電の回収量：900 k g
- ・古紙の無料回収量：20 k g
- ・美 o la（生ごみ肥料）の販売数：40 袋

(4)リユースショップ情報発信事業

資源の有効利用やごみの減量化を推進するための取組の一環として、製品等の再利用（リユース）の円滑化を図るべく、市内で古物営業を営む事業者店舗の情報を集約し「滝川市リユースショップ一覧表」として次のとおり情報提供を行っています。

- ・情報発信依頼店舗数 6 店舗（ライフサポート、空知古書館）

(5)滝川市フリーマーケット情報交流事業

滝川市内で開催されるフリーマーケットの情報を市が滝川市公式ホームページや電子メールを通じて P R し、フリマの活性化を支援する取組です。電子メールでの情報は市内外を問わず予めアドレスを登録していただいた方に対して随時、送信します。

- ・発信したフリーマーケット開催情報の件数 4 件

滝川市フリマ開催情報が携帯電話からご覧いただけます。



ここからアクセス！

QRコードが読み込めるカメラ付き携帯電話で、市内で開催されるフリマ情報がご覧いただけます。

また、市役所くらし支援課のホームページから、開催情報の発信依頼や情報受信登録ができますので、ご利用下さい。

区分		単位	25 年度	24 年度
収集人口①		人	41,988	42,292
収集世帯		世帯	21,298	21,250
家庭系	生ごみ	トン	2,002	2,126
	燃やせるごみ	トン	5,531	5,524
	燃やせないごみ	トン	710	702
	粗大ごみ	トン	985	924
	資源ごみ	トン	473	463
	計	トン	9,701	9,739
事業系	生ごみ	トン	1,829	1,881
	燃やせるごみ	トン	2,599	2,486
	燃やせないごみ	トン	126	126
	粗大ごみ	トン	298	331
	資源ごみ	トン	163	180
	計	トン	5,015	5,004
家庭系＋事業系	生ごみ	トン	3,831	4,007
	燃やせるごみ	トン	8,130	8,010
	燃やせないごみ	トン	836	828
	粗大ごみ	トン	1,283	1,255
	資源ごみ	トン	636	643
	計 ②	トン	14,716	14,743
資源化量 (資源回収以外)	燃やせないごみ・粗大ごみより回収	トン	655	641
	生ごみより回収	トン	150	157
	資源ごみより回収	トン	654	622
	計 ③	トン	1,459	1,420
資源回収	拠点回収	トン	40	34
	集団資源回収	トン	1,748	1,813
	資源回収の合計 ④	トン	1,788	1,847
合計 ⑤(②+④)		トン	16,207	16,590
埋立処分量		トン	1,548	1,531
1 人当たりの日排出量/人(資源回収分除く)		グラム	960	955
1 人当たりの日排出量/人(資源回収分含む) (⑤/①/年間日数)		グラム	1,057	1,075
●リサイクル率 (③+④)/⑤		%	20.0	19.7
●家庭系ごみ(資源ごみ及び資源回収除く)の 1 人当たり日排出量		グラム	602	601

表 2 一般廃棄物の収集内訳等

※●印は数値目標項目

Pick up! ①



H26. 4月から

ごみ の分別が変わりました!!

- 「その他ごみ」が廃止となりました！
- 新たに「特定品目」を追加しました！
- 「雑がみ」が資源ごみの対象となりました！

※詳しい分別についてはごみガイドブックでご確認ください。

(2) 創エネ・省エネ 物語

1 平成 25 年度における数値目標の達成状況について

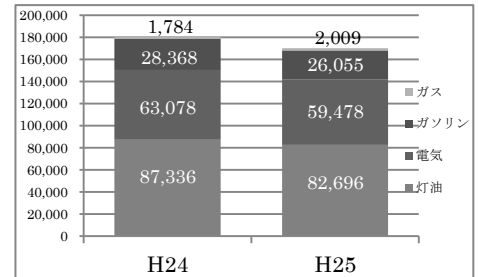
省エネモニターのCO₂削減量（30 世帯を対象とした参考数値）

目標値（平成 27 年度時点） 前年比で平均 1 %削減

実績値（平成 25 年度） 前年比 5.7%減

※電力消費量については平成 25 年度の CO₂排出係数が現段階で環境省から公表されていないため、平成 24 年度の排出係数（0.680CO₂/kWh）で算定

☆モニター世帯における二酸化炭素排出量の推移について（前年データの無い世帯は除外）



省エネモニターについて

省エネモニターへの協力世帯が減少傾向にあるため、幅広い層にモニターを実施してもらうための工夫が必要となります。

滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量

（H23 年度から追加された数値目標）

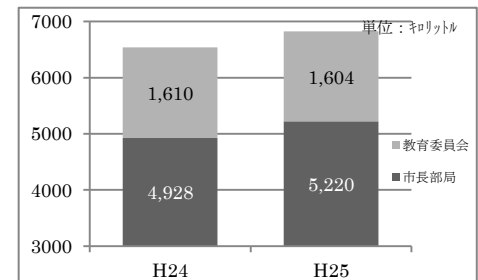
目標値（期間中平均） 原単位で年平均 1 %削減

実績値（平成 25 年度） 前年比 4.4% 増

※ここでの原単位とは、施設の延床面積当たりのエネルギー消費量としている。

☆滝川市の公共施設エネルギー消費量

※1 年間に消費したエネルギー量を原油量に換算



今後に向けた課題など...

公共施設（主に市立病院）のエネルギー使用量が大きく増加したため、改めて空調設備等の調整を行う必要があります。

2 平成 25 年度の主な取組等について

(1) 滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量について

滝川市が管理する公共施設全体で 1 年間に消費したエネルギー量は原油の量に換算すると 6,827 キロリットルになります。

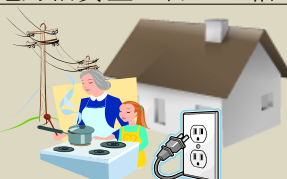
数値目標にもある滝川市の公共施設の延床面積当たりの原単位エネルギー消費量では、昨年度と比較し 4.4% の増加となりました。

市役所庁舎で消費する電力は一般家庭の何軒分？

市役所庁舎では平成 25 年度 1 年間に約 790,134kWh の電力が消費されました。これは一般家庭の標準的な年間電力消費量の約 530 倍に相当します。



=



×

530世帯

図 1 市役所で消費される電力について

※一般家庭の平均電力消費量約 1,500kWh/年として推計
（平成 25 年版 滝川市の統計（第 39 号）より）

(2)省エネモニターの実施

- ・内容：各家庭で生活のなかでのエネルギー消費を意識していただきながら、具体的に省エネルギーにいかに取り組むべきかを考えていただけるよう、一般市民を対象に省エネモニターを実施しました。また、平成 23 年度より、灯油、ガス、ガソリンも調査項目として追加しました。
- ・目標：計画当初、国が推進する「チームマイナス 6 %」の目標に準じ 6 %削減を掲げスタートしましたが、継続的に取り組むモニター家庭にとっては年数を経るにつれて現実的に達成が困難であることから省エネ法の努力目標として設定されている年平均 1 %削減に準じることとしています。モニター世帯は毎年度変わるため具体的な数値目標は設けていません。
- ・参加世帯数：30 世帯
- ・モニター対象期間：平成 25 年 8 月～平成 26 年 2 月分
- ・対象エネルギー：電気、ガス、灯油、ガソリン

(3)公共施設における使用済み食用油の燃料利用

市内公共施設（中央児童センター）に廃食用油を燃料として利用する専用のボイラーを平成 23 年度に設置し、学校給食調理で使用した油のほか、市内事業所、家庭から排出された油を燃料として利用しています。

平成 25 年度においては平成 18 年度～平成 22 年度までの 5 年間の平均重油使用料（約 40,000L）と比較して 25,000L 程度の重油を削減することができました。

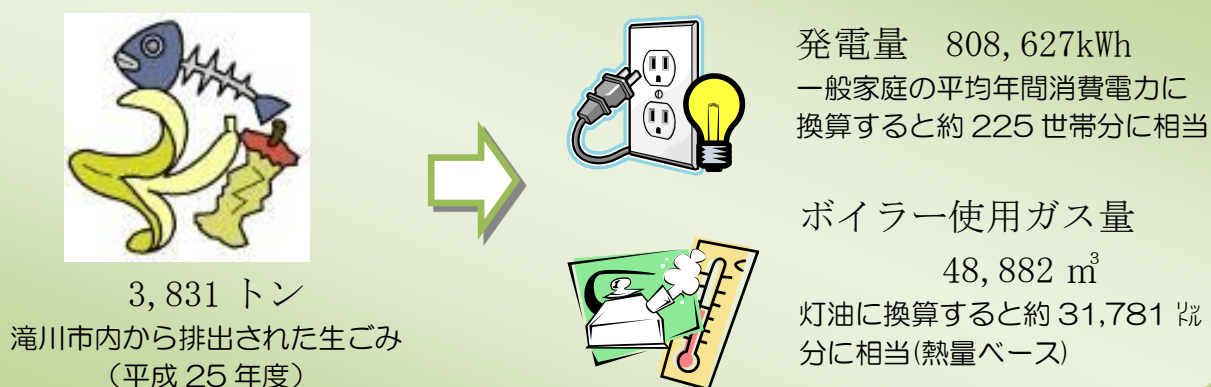


(4)バイオマスのエネルギー利用

① 生ごみのエネルギー利用

東滝川にある中空知衛生施設組合リサイクリン（滝川市のほか赤平市、芦別市、雨竜町、新十津川町と共同で運営）では、各市町で分別回収された生ごみ（一般廃棄物）から、メタンガスというエネルギーを取り出しています。メタンガスは発電機やボイラーの燃料として供給され、電力や熱に変換され施設の運営等に活用されています。

リサイクリンで生ごみから生み出された電力と熱



※それぞれ、施設全体の発電量及びボイラー使用ガス量に滝川市の生ごみ排出割合(59.9%)を乗じた値です。

図 2 生ごみからのエネルギー回収イメージ

② 下水道汚泥のエネルギー利用

滝川市の下水道は石狩川流域下水道(北海道及び6市4町により運営)に接続されており、奈井江町内にある下水道処理施設(奈井江管理センター)に送られ浄化されます。そこでは、浄化処理の過程で有機物からメタンガスを取り出し、生ごみ処理と同様、得られたガスを電力や熱に変換して利用しています。

	施設全体	滝川市分
I 汚泥処理量(トン)	3,616	1,471
II 消化ガス発生量(m³)	1,336,847	544,096
III 消化ガス使用量(m³) →消化ガス発電等として利用	1,160,748	472,424
IV 発電量(kWh)	1,528,840	622,237

表3 下水道汚泥の発生量及びエネルギー回収等について

※Ⅱ～Ⅳの滝川市分は下水処理量の割合から案分した値です。

(5)滝川市住宅用太陽光発電導入支援補助金の運用

既存および新築の住宅に新たに太陽光発電を設置する方に活用していただける補助制度を運用しています。

平成25年度の交付実績について

予算額	2,000,000 円
設置件数	4 件
消化額	304,600 円
消化割合	約 15%
設置 KW 数	(合計)約 15.2kW (平均)約 3.8kW



Pick up! ②

○滝川市の大規模太陽光発電所誘致の実績について

第1基 伯東滝川ほほえみソーラーパーク(滝川市滝の川町6丁目933-6、933-8)

- ・事業者 伯東株式会社
- ・着工 平成25年5月
- ・売電開始 平成25年8月

第2基 せせらぎ団地未分譲地(滝川市中島町2丁目)

- ・事業者 株式会社JCU
- ・着工 平成26年5月中旬

第3基 中央工業団地(滝川市北滝の川)

- ・事業者 SEエナジー株式会社
- ・着工 平成26年5月以降を予定

第4基 流通団地(滝川市流通団地)

- ・事業者 SEエナジー株式会社
- ・着工 平成26年5月以降を予定



伯東滝川ほほえみソーラーパーク

□4基合計(概算、計画地ベース)

- ー出力 5,450 kW
- ー発電量 57,000,000 kWh (1,650 世帯分)
- ー投資額 17 億円
- ー賃料 810 万円/年 (1 億 6 千 2 百万円)
- ー固定資産税収入 1 億 4 千万円/20 年 (年平均 704 万円)

(6)市内公共施設における太陽光発電設備のデータの公表

平成 22 年度に設置した滝川市役所庁舎壁面の太陽光発電設備のほか、滝川市内の公共施設（北海道滝川高等学校、札幌地方検察庁滝川支部）に設置されている太陽光発電システムの発電量も集計し、滝川市公式ホームページ）において公表しています。

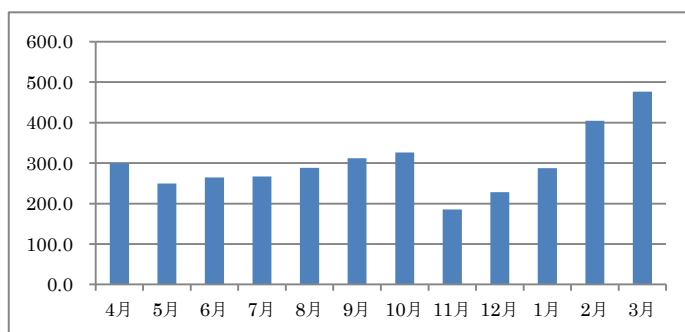
 インターネットで「滝川 公共施設 太陽光発電」と検索してみてください。

各施設における発電量について

i) 滝川市役所



- ・出力：5kW
- ・角度：90°
- ・年間発電量(推計)：3586.9kWh
- ・設置年月日：平成 22 年 12 月



※4月の発電量については機器の不具合により、データの記録ができなかったが、壁面設置のため、積雪の影響がないことを踏まえ、他 11 ヶ月間の平均の値となる 293kWh を入れ推計した。

図 3 市役所庁舎における太陽光発電実績

ii) 北海道滝川高等学校



- ・出力：20kW
- ・角度：50°
- ・年間発電量：21,301.7kWh
- ・設置年月日：平成 22 年 12 月

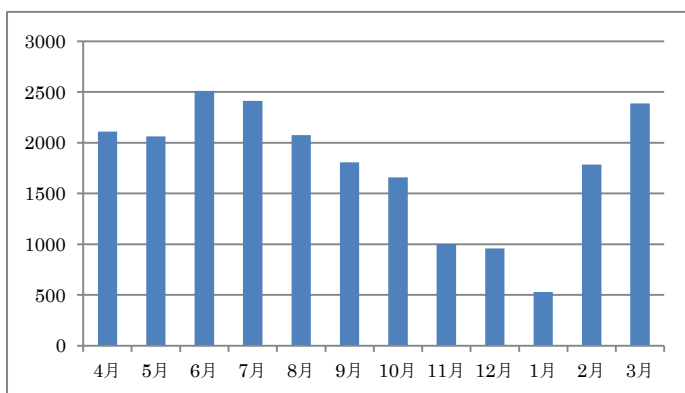


図 4 滝川高校における太陽光発電実績

iii) 札幌地方検察庁滝川支部



- ・出力：5kW
- ・角度：45°
- ・年間発電量：5021.2kWh
- ・設置年月日：平成 22 年 7 月

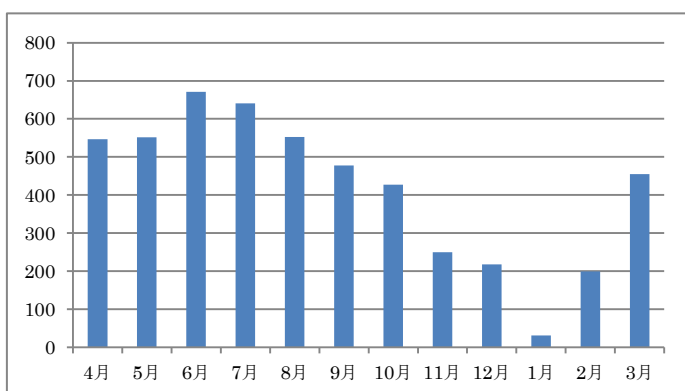


図 5 札幌地方検察庁滝川支部における太陽光発電実績

(3) 農・山・川 (ノー・ザン・リバー) 物語

1 平成 25 年度における数値目標の達成状況について

☆H25 年度までの状況

農業体験授業（事業）実施校数

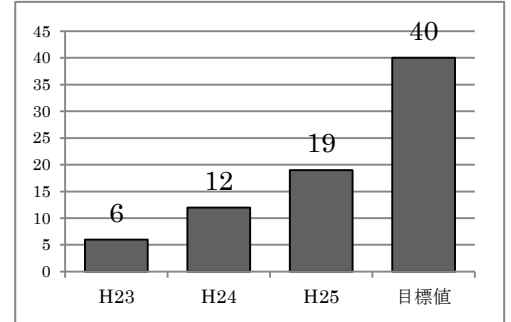
(H23 年度から追加された数値目標)

目標値（平成 23 年度～27 年度累計） 40 校

実績値（平成 25 年度累計） 19 校

○平成 25 年度の実施校 7 校（順不同）

滝川第一小学校、滝川第二小学校、西小学校、江部乙小学校
滝川西高等学校、國學院大學北海道短期大学部

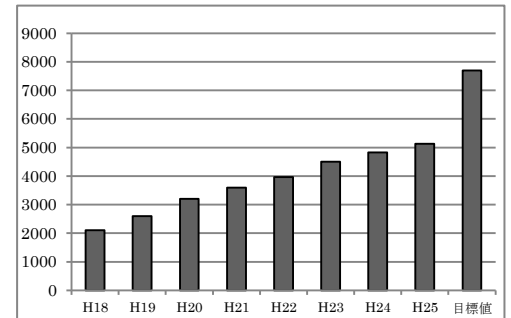


石狩川ルネサンスの森市民植樹祭植樹本数

目標値（平成 18～27 年度累計） 7,700 本

実績値（平成 25 年度末累計） 5,130 本

（うち平成 25 度 300 本/年）



※平成 18 年度の数値については「北海道植樹祭」における植樹本数の数値を使用

石狩川ルネサンスの森市民植樹祭植樹本数(累計)



今後に向けた課題など…

農業体験授業については、総合的な施策を通じて、滝川の自然環境を守り育てていく意識付けを定着させていく必要があり、植樹については、多くの市民参加のもと、石狩川ルネサンスの森の面積約 90% が完了し、着実に進捗していますが、植樹後の森のメンテナンス作業も重要な取組です。

2 平成 25 年度の主な取組等について

(1) 地域農業の振興と住民等との交流促進のための取組

① ふれ愛の里 秋の体験と収穫祭

- ・開催日 平成 25 年 9 月 23 日
- ・場 所 滝川ふれ愛の里
- ・内 容 そば打ち体験、はるゆたかパン作り、新米の量り売り、各種物販



② 農業体験の推進

i 心と体を育てる体験型食育教室

地域農業者との連携を図りながら、農業体験等を通じて、次世代を担う子どもや学生たちに食や環境の大切さについて理解を深めてもらうためのプログラムを実施しました。



7)食育ファーム

- ・対 象：小学5、6年生
- ・内 容：二泊三日の宿泊農業体験
農家宿泊しながらの農業体験、ふれ愛の里でのそば打ちやはるゆたかを使用したパンづくりなどの加工体験で地産地消の学習
(8/7～8/9 参加人数計：29名)



4) 「滝川おもしろ食育塾」の取組

■思春期食育教室

- ・対 象：滝川西高等学校3年生フードデザインコース B コース3年生16名(全7回、参加人数：112名)
- ・内 容：いもやかぼちゃなどの畑作体験(畑おこし、種まき、講義、収穫、調理・加工実習)



■青年期食育教室

- ・対 象：國學院大学北海道短期大学部幼児・児童教養学科児童教育コース2学年21名
- ・内 容：稲作体験(田植え、草取り、生き物観察、稲刈り、はざかけ、脱穀)調理実習(収穫祭、もちつき、おにぎりや雑煮づくり) など
(全5回、参加人数計：105名)

ii グリーンツーリズムに係る取組

7)「そらちDEい〜ね」を介した受入事業

- ・時 期 平成25年6月4日～平成26年2月6日
- ・人 数 21校 218名 (前年度 19校 304名)
- ・農 家 延べ 59戸 (前年度 82戸)

4)國學院久我山中学校(東京都)の受入事業

- ・時 期 男子～平成25年9月1日～2日(1日半の日帰り農業体験)
女子～平成25年9月3日～4日(1日半の日帰り農業体験)
- ・人 数 47名(男子24名、女子23名)
- ・農 家 9戸

※これらの受入のほか、個別農家単位での受入等の取組も行われています。

(2)豊かな森づくりのための取組

①市民植樹祭

- ・開 催 日：平成25年6月16日
- ・植樹場所：丸加高原
- ・参加者数：100人
- ・植樹本数：300本

(3)川との共生に向けた取組

「NPO まち・川づくりサポートセンター」の取組

■石狩川クリーンアップ作戦(美化活動)

石狩川再生の森植樹事業

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 内容 | 石狩川及びラウネ川の清掃活動
ラウネ川周辺への植樹活動 |
| 開催日 | 平成25年5月26日
参加人数：100人
植樹本数：103本 |



■みんとち自然体験楽校（みんとち：アイヌ語で河童の意）

内容：子どもたちが自ら自然を体験し、思考や知識を働かせ実践することにより、より良い生活の創出を促す。春夏秋冬の各季節に合ったコースにより実施した。

①春コース（テーマ：青い惑星の謎）

開催日：平成25年5月19日

参加人数：6人



※1 プロジェクトWET (Water Education for Teachers) とは・・・

水や水資源に対する認識・知識・理解を深め、責任感を促すことを目標として開発された、「水」に関する教育プログラムのことをいう。「社会」や「理科」などをはじめとした様々な教科に応用ができるといったことや、グループワークを通じ、意見調整能力や発表能力、リーダーシップなどの能力を高めることができる。

プロジェクトWET、春の植物観察

内容：プロジェクトWET※1と言われる水を切り口とした環境教育のプログラムの提供のほか、実際に外（滝川地区地域防災施設外）へ出て滝川市の自然に直接触れ合ってもらふことのできる春の植物観察会を開催しました。

②夏コース（テーマ：みんとちの大冒険）

開催日：平成25年8月3日

参加人数：17人



Eボートを利用した川下り体験 等

内容：Eボートを利用した川下り体験や川流れ体験のほか、薪に火をつけるところから実施した焼き芋づくり等、普段体験することが難しい夏ならではのイベントを開催しました。

③秋コース（テーマ：森と川の図工）

開催日：平成25年10月5日

参加人数：13人



草木染体験、石ころアート 等

内容：施設周辺の草木を使った草木染体験や石ころアートなど、周辺に落ちている自然の物を使った工作づくりを実施しました。

④冬コース（テーマ：ヒグマの冬ごもり）

開催日：平成26年2月8日

参加人数：10人



イグルー作り、スノーシュー体験

内 容：滝川地区地域防災施設及び石狩川河畔周辺でスノーシューを履いて森の観察やエスキモーの暮らしを学ぶため、イグルーづくり体験を実施した。

(4)自然とのふれあいへの取組

「たきかわ環境フォーラム」による取組

■エコカフェの開催（全4回）

※テーマに沿って講師を中心に身近な環境問題について語り合う集いです。

「コウモリ・ウオッチングは愉し」（平川浩文さん（森林総合研究所北海道支所））

「フラワーソン市民が調べた15年の成果」（渡辺修さん（さっぽろ自然調査館／フラワーソン実行委員））

「科学遺産・北海道人造石油滝川工場」（河野敏昭さん（たきかわ環境フォーラム）、永井芳仁さん（滝川市教育委員会））

「東滝川のコウモリたち」（出羽寛さん（オサラッペ・コウモリ研究所））

■「カグヤコウモリ生態調査」の開始

■「たきかわエコ・フェスタ2013」の開催

■「全国水環境一斉調査」に参加

滝川市南東部の石狩川水系空知川においてCOD（化学的酸素要求量）値を測定。

■滝川高校SSH課題研究発表会への参加

■滝川市公民館まつり「エコネット登録団体ブース展示会」への参加 など

民間団体の活動のピックアップについて

「滝川おもしろ食育塾」、「NPO法人まち・川づくりサポートセンター」、「たきかわ環境フォーラム」は市内で活動する民間団体として、それぞれユニークな取組を展開されており、ここで特に取り上げさせていただきました。それぞれの団体につきましては、たきかわエコネット(P17 参照)にも登録されていますので、そちらもご覧下さい。なお、民間団体の取組については、今後も積極的にピックアップしていきたいと考えていますので、まずは「たきかわエコネット」へのご登録をお願いいたします。



(4) 人の環 (わ) づくり 物語

1 平成 25 年度における数値目標の達成状況について

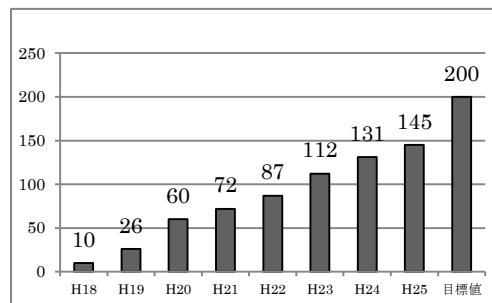
環境学習リーダーの人数

目標値 (平成 18 年度～27 年度累計) 200 人

実績値 (平成 25 年度累計) 145 人

(うち H25 年度 14 人/年)

☆平成 25 年度までの状況

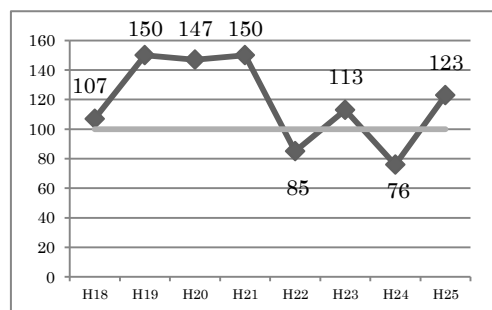


環境市民大会※の参加者数

目標値 100 人/回

実績値 (平成 25 年度) 123 人/回

環境学習リーダーの人数 (累計)



※環境市民大会は環境に関する市民からの意見等を聴取する場として市が、毎年度、開催することとしています。

環境市民大会の参加者数

環境関連イベントにおける参加者の平均評価点

(H24 年度から追加された数値目標)

目標値 85 点/年平均

実績値 (平成 25 年度) 86.7 点/年平均

(対象: イベント 内訳等詳細は下表参照)



今後に向けた課題など...

平成 25 年度は、それぞれの目標を達成することができました。平成 26 年度においても民間・行政・教育機関が連携できるイベントの企画・運営に努めていきます。

環境関連イベントにおける参加者による採点結果について

開催日	イベント名	参加者数	平均点数
7月 19 日	滝川そら育環境教室	92 名 (36 名+56 名)	91.8 点
10月 17 日・18 日	滝川市環境学習リーダー養成講座	14 名	83 点
1月 18 日	楽しく無理なく取り組める！ ドイツのエコライフスタイル	123 名 (81 名+42 名)	85.2 点
平均点合計			86.7 点

滝川市が主催する環境関連イベントにおいて、参加者に対してイベントとしての採点 (100 点満点) をしていただいた結果をまとめています。



2 平成 25 年度の主な取組等について

(1) 滝川そら育環境教室の開催について

日本航空で働く現役のパイロットをお呼びし、私たちが決して見ることのできない上空 1 万メートルから見た地球の姿を紹介しながら、地球温暖化や JAL グループが取り組む環境活動についてお話しをいただきました。

演台：「上空 10,000 メートルから見た地球環境問題！」

講師：加藤 義己



(2) 夏休み滝川わくわく食育・エネルギー育教室の開催について

○第 1 日目(8 月 1 日(木))

日本一面白いエネルギーの先生をお呼びし、省エネルギーや新エネルギーについて、面白おかしくお話しをしていただきました。

また、講座の後半では、一人一人が風力発電の実験キットを組み立てて、風から電気を起こし、体感的に新エネルギーについて勉強する機会も提供しました。

- エネルギー資源(枯渇)問題について
- 温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量増加に伴う地球温暖化の進行について
- 温暖化に伴う海面上昇によるメリットについて
- 新エネルギー導入の意義・メリットについて
- 新エネルギーの技術の紹介について
- 滝川市における導入事例の紹介について



○第 2 日目(8 月 2 日(金))

前半は、アウトドアクッキングで食育学習を実施し、自分たちのお昼ご飯を自分たちで作りながら、食べ物や環境の大切さを学び、後半は、地域のエネルギーを作る施設見学を行いました。また、移動車内において、環境問題に関する〇×クイズ大会を行い、1 日目のエネルギー教室にて勉強したことの復習も併せて行いました。



【見学施設】

- ①中空知衛生施設組合リサイクリーン
- ②北海道電力(株)砂川火力発電所



(3)滝川市環境市民大会の開催について

○午前の部

「ドイツのエコライフ」

エコの先進国といわれるドイツのエコな取組のほか、無理なく誰もが取り組める環境保全の仕組みづくりについてなどについて分かりやすくお話いただきました。

対象：市内・市外問わず参加可能

参加者数：81名

○午後の部

「フェルトづくり体験」

天然の素材に触れ、環境について親しんでもらうということを目的として、羊毛のフェルトを使用したストラップやマスコットづくりなどのものづくり体験を行いました。

対 象：小学生の親子

参加者数：42名



(4)環境学習リーダーの養成講座の開催

○第1日目(10月17日、座学)

「エネルギー検定問題に挑戦！90分集中講座」

エネルギー検定で出題された問題30問に実際に挑戦していただきました。後半は1問ずつ、答え合わせをしながら、エネルギーに関する基本的知識を勉強していただきました。

○第2日目(10月18日、施設見学)

江別市内のメガソーラーやリサイクル施設のほか札幌市内の雪冷熱利用施設を訪ね、お話を伺いながら、実際にその取組の様子を目にすることで、現場の様子を感じ取っていただきました。

①江別ノーザンフロンティア発電所

②モエレ沼公園

③コープさっぽろエコセンター

参加者数 14 名



(5)たきかわエコネットの運営実績

- ・情報発信数：10 件
- ・団体登録数：1 団体（手紬染織工房たきかわ）
計 7 団体

・たきかわエコネット登録団体によるブース展示会について

開催日：平成 26 年 3 月 1 日（土）13:00～17:00

2 日（日）10:00～16:00

参加人数：100 名

内 容：滝川市教育委員会が主催する「平成 25 年度滝川市公民館まつり」の一室を借用し、たきかわエコネットに登録する団体のブース展示会を行った。また、同会場で、小型電子機器の無料回収のほか、古繊維の無料回収も併せて実施した。

【資源回収量】

- ・小型電子機器：約 800 k g
- ・古着・古繊維：約 100 k g



たきかわエコネット登録団体：7団体(平成26年3月末現在)

団体名	活動内容	団体名	活動内容
「緑とエコ」サポーターネット	当会は平成13年6月10日に行われた「石狩川ルネサンスの森」の創設時に、森林の持つ多様な機能の育成と緑によるゆとりと潤いのある環境の整備を図り、循環型社会づくりを進めることを目的として設立しました。 これまでの主な活動は、毎年行われる「石狩川ルネサンスの森」整備事業であり、その他には、石狩川の水源のひとつである南富良野町にあるかなやま湖で「水源の森創造交流会」などを行っています。	日本野鳥の会滝川支部	滝川市を中心に空知管内でバードウォッチングをとおして自然保護活動を行っています。石狩川と空知川の2大河川が流れる空知には広大な河川敷地と河畔林があり、草原や森林を好む鳥たちの重要な繁殖地となっています。 また、河川改修でできた三日月湖も多く残っていて、渡り鳥たちが旅の途中で羽を休め繁殖地や越冬地に向かいます。そんな野鳥たちの観察記録を蓄積し、鳥たちの生息環境の保全活動をしています。
滝川消費者協会	本会は環境保全への取組みはもちろんのこと、消費生活の安定向上及び消費の合理化普及を目指すため、各種イベントを開催し、会員相互の親睦並びに一般消費者とのふれあいを目的に事業を行っています。	NPO 法人 まち・川づくりサポートセンター	石狩川再生の森整備、ゴミ拾い活動、水防水難訓練支援（レスキュー訓練、舟漕ぎ大会）、たきかわ子ども水辺協議会の活動、指導者の育成（RAC、CONE、プロジェクトWET・ワイルド・ラーニングツリーなど）
たきかわ環境フォーラム	「森のかがく活動センター」を本拠にする市民グループ「たきかわ環境フォーラム」は、ひとつのキーワードを掲げて活動しています。それは「エコアップ！」。 私たちが暮らす地域の環境を見つめ直しながら、ちょっとずつ「自然の豊かさ」を高めていこう、という願いを込めました。実現のために情報を集めたり、その情報を再発信したりする役目も果たせたらと思っています。	滝川おもしろ食育塾	滝川市内の未成年への農業体験を主軸とする食育教育の企画、現場活動を行っています。現在、國學院短大、滝川西高等学校家庭科で実施中。今年度は小学生の夏休み教育ファームを実践致します。 中空知で生まれ育った子供たちが、命を繋ぐ食と人との関わりを五感で感じることや、故郷の農村に誇りと持っていただくことなど、その後に良い影響を受けてもらう事を目標に活動しています。
手紬染織工房たきかわ	滝川で飼育されている羊の毛を主に使い、身近にある草木で自然の色を染め、糸を作って織物や編み物など、日常的に使用できる作品を作り、販売することで羊毛の暖かさや、自然の色の素晴らしさを知ってもらうことを目的として活動しています。	インターネットで「たきかわエコネット」と検索してみてください。	

環境都市宣言

わたしたちのまち滝川は、石狩川と空知川に育まれた豊かな大地と自然の恵みを受けて、健康で文化的なまちとして発展してきました。

しかし、今、人々の営みは、豊かな自然や調和のとれた地球環境に大きな影響を与えています。

21世紀を迎え、わたしたちは、地域の優れた環境を再生し、美しい地球を未来に引き継ぐため、環境にやさしいまちづくりに努めることを誓います。

平成15年1月1日

滝 川 市



たきかわ「環のまち」物語

— 年次報告書 —

(平成 25 年度評価版)

平成 26 年 7 月 日作成

〒073-8686

北海道滝川市大町 1 丁目 2 番 1 5 号

滝川市 市民生活部くらし支援課（環境衛生係）

電話 0125-28-8013（直通）

FAX 0125-24-0154

e-mail kurasi@city.takikawa.hokkaido.jp